

2 生涯スポーツ

■ 現況と課題

- 近年、社会環境の大きな変化にともないストレス社会といわれていますが、我々の生活様式も時代の流れとともに変化し、少子高齢化、国際化、情報化の進展には目をみはるものがあります。このような社会のなか、健康で豊かな人生を送るためには生涯スポーツが必要不可欠です。
- スポーツ・レクリエーション施設は、老朽化してきている施設の改修整備が財政難のために遅れているという状況にあり、財源確保が課題となっています。
- スポーツクラブ21の育成は、市内10校区での立上げは完了しましたが、各地域クラブでの活動状況に格差が生じています。
- 今後も地域住民が生涯にわたってスポーツを楽しみ、健康の保持増進ができるように、内容等の検討を図っていく必要があります。

■ 施策の目標

健康の維持増進と心のふれあいを深め、市民のニーズにこたえられるスポーツ・レクリエーションの振興を図ります。各スポーツ施設において、各種スポーツ団体の活動を活性化させるとともに、多世代型の地域スポーツクラブ活動の推進やニュースポーツを広く普及させ、市民が気軽に参加できる環境づくりを推進します。

■ 施策の方向

①スポーツ・レクリエーション活動の推進

■ 計 画

①スポーツ・レクリエーション活動の推進

- 総合運動公園体育施設等の社会体育施設の整備、充実に努めます。
 - 各種スポーツ教室、競技会などを開催するほか、市民誰もが気楽に楽しむことができるニュースポーツの普及を図るとともに、市民が自主的にスポーツ・レクリエーションに参加する機会の拡充に努めます。
 - 各種スポーツ団体、サークルの育成と活動の促進を図るため、体育協会が行う活動を支援します。
 - 体育指導委員をはじめ、各種スポーツ指導者の育成と確保に努め健康体力づくりの拡充に努めます。
 - 高齢者がスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう、地域社会と連携して機会の拡充を図ります。
- ☆すべての市民が様々なスポーツ活動に参加し、生涯にわたって継続的にスポーツを楽しめるよう、地域における身近な施設を拠点としたスポーツクラブの育成に努め拡充を図ります。

まちづくり指標

指 標	現況（実績等）		H27年度の目標値	H32年度の目標値
	年度	数値等		
スポーツ教室参加者数	21	23,486 人	↗	↗

資料：高砂市施設利用振興財団実施報告

指 標	現況（実績等）		H27年度の目標値	H32年度の目標値
	年度	数値等		
イベント参加者数	21	39,769人	↗	↗

資料：体育協会事業報告書

■関連計画

- ◆高砂市教育振興基本計画【2010年度（平成22年度）～2014年度（平成26年度）】
基本理念：ふるさと高砂を愛し、思いやりとたくましさで満ちあふれた人づくり
- ◆（仮称）高砂市スポーツ振興計画（策定予定）

▼体育施設利用状況

単位：人

施設名	利用者数
総合体育館	138,599
陸上競技場	20,966
テニスコート	19,863
野球場	25,759
サブグラウンド	27,128
相撲場	93
勤労者体育センター	42,211
市民プール	26,626
向島多目的球場	25,228
向島テニスコート	5,821
計	332,294

（平成21年度）

▼スポーツクラブ21

